



平成29年度も早いものでもう1ヶ月が過ぎました。ようやく態勢も整ってきたので、皆さんに伝えたいことなど、今後不定期ではありますが通信を発行したいと思います。

◇The three arrows について

校章の「三本の矢」には「知・徳・体」を兼ね備えた人間を養成したいという願いが込められています。また、戦国武将の毛利元就が三人の子供たちに団結し協力し合うように説いていたという遺訓のように、「生徒の協力と団結によって健やかな学校を築きあげよう」という願いも込められています。この校章の意味に倣^{なら}って「チーム矢島高校」の一員として、皆さんが健やかに、逞しく成長することを願ってつけました。

◇教育理念と目指す生徒像

「教育理念」なんて言うとなんとなく難しそうだが「こんな生徒を育てたい」という思いです。

〔 教育理念 〕 志を掲げ、自らの足で立ち、学問の翼で飛び立つ生徒の育成

「志を掲げる」とは「自分はこう在りたい」という気概を持つことであり、「自らの足で立つ」とは「自立すること」を意味します。学ぶことは考えることでもあり、学ぶ意義を考えることは働く意義を考えることに繋がって、最終的にどう生きるかという問いに辿り着きます。「学問の翼」は、その学びを象徴的に表したものです。志を掲げる、即ち、こう在りたいという明確な目標を持つことで、将来職業を通して社会に貢献しようとする気概や、その達成に向けた学びを継続しようとする姿勢を育てたいというのが、この理念の目指すところです。

これによって、具体的に皆さんにどんな生徒に育てて欲しいかというのが「目指す生徒像」ですが、次の4点があります。

〔 目指す生徒像 〕

1. 自他を知り、社会を知ること謙虚に学びを続ける生徒

学ぶとは単に知識を得ることだけでなく、考えることです。世の中には自分の知らない多くのことがあり、自分や他人や社会との関わりを知ることで自分の為すべきことが分かります。

2. 場と状況を把握し、マナーを守り、責任ある行動をとる生徒

挨拶や整容など、こうしなさいと注意されて直すのではなく、TPO(時や場所、その場の状況)をわきまえた立ち居振る舞いができるのが、責任ある人間として求められる姿です。

3. 他を思い遣る心を持ち、共に学校行事や諸活動に積極的に取り組む生徒

弱い立場に危害を加えるいじめなどが起こるのは、その立場の人の心に寄り添う気持ちがなからずです。相手の立場に立って考える心を持ち、仲間と一緒に諸行事に積極的に取り組もう。

4. 明確な進路目標を持ち、その実現に向け日々の努力を継続する生徒

漠然とした目標ではいつまでもウダウダしたままで、中途半端です。明確な目標を掲げ、その実現に向けて具体的なスタートを切る。そして、それを継続することが大事なことです。

皆さんには、是非これを意識して生活し、より逞しく成長してもらいたいと期待します。

第1号と言うことで、とりあえず所信表明のようで、少し堅苦しかったかもしれません。

学校をより良くしたいという取り組みの中で、きちんと説明しないと誤解が生じる場面もあります。また、皆さんに是非紹介したいと思うこともあります。このようなことを一つひとつ通信に書いていきたいと思っています。